

ZEPHYROS

ゼフェロス No.30

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



アンドレア・マンテーニャ(?)
《キリストの冥府降下》 1460年代末
エングレーヴィング、チューリヒ工科大学版画素描館蔵

—チューリヒ工科大学版画素描館の所蔵作品による— イタリア・ルネサンスの版画

ルネサンス美術を広めたニュー・メディア

会期: 2007年3月6日(火)～5月6日(日)

主催: 国立西洋美術館/チューリヒ工科大学版画素描館/(財) 西洋美術振興財団

この度国立西洋美術館では、「イタリア・ルネサンスの版画」展を開催いたします。版画は私たちにとって最も身近な美術ジャンルのひとつと言えるでしょう。しかし版画という技法が西洋で生まれたのは、それほど昔のことではありません。紙に刷られた木版画が登場するのは14世紀末、銅版画(エングレーヴィング)は1430年代のこととされています。時はあたかも、イタリアにおいてルネサンス美術が花開こうとしていた時期でした。版画はほぼルネサンスと時を同じくして生まれ、発展したとすることができます。

イタリア・ルネサンスの版画

版画は初めのうち、トランプや護符、地図、あるいは本の挿絵といった実用目的のために制作されました。しかしそのうち、銅版画の分野で、版画によって独立した美術作品を作ろうという動きが生じてきます。こうした動きを牽引したのは、マ



マルカントニオ・ライモンディ 《疫病》1515～16年
エングレーヴィング
チューリヒ工科大学版画素描館蔵

ンテーニャやポツライウオーロをはじめとする、画家でもあった芸術家たちでした。彼らは絵画や彫刻といった、地位の高い美術と考えられたジャンルの表現を版画に導入し、版画を工芸品から、真の美術表現へと脱皮させようとしたのです。それまで繊細な描線によって、金細工のように描かれていた版画は、まるでペン素描を思わせるような生き生きとした線によって表現されるようになり、また画面の奥行きは飛躍的に増すこととなります。その後も版画家たちは線の種類に変化を与えたり、道具を工夫したりすることによって、版画の表現を深めて行きました。

版画が美術作品としての地位を占め始める一方で、その複数性に注目した芸術家たちは、新たな可能性を見つけます。それは、版画によって自らの作品(素描)を複製し、広めるということです。それまで画家の作品を記録し、広めるためには、模写をするくらいしか手段がありませんでしたが、版画の登場によって、同じ図柄をヨーロッパ中に広めることが可能となったのです。こうして、版画は原画作者には名声をもたらす一方、ヨーロッパ中に当時最先端だったイタリアの美術様式を伝える上できわめて重要な役割を果たすこととなりました。本展では、ラファエッロの原画を版画化したマルカントニオ・ライモンディの作品を中心に、芸術家と版画家の関係にも注目します。

本展の出品作品のうち、100点をチューリヒ工科大学版画素描館からお借ります。同大学はヨーロッパ屈指の名門大学として有名ですが、その版画コレクションもまた、質の高さによって知られています。イタリア・ルネサンス美術を紹介する展覧会は我が国でも時折開催されますが、版画に的を絞ったものは、今回の企画が初の試みとなり

フランチェスコ・パルミジャーノ
《恋人たち》 1527年以降
エッチング、ドライポイント
チューリヒ工科大学版画素描館蔵



ます。会場の作品を通じて、イタリア・ルネサンスの芸術家たちが新しいメディアである版画でどのような実験を試み、利用しようとしたのかを感じ取っていただければと思います。ひと味違うルネサンス美術をお楽しみください。

(研究員 渡辺 晋輔)

◆「イタリア・ルネサンスの版画」観覧料

一般	850円	(600円)
大学生	450円	(250円)
高校生	250円	(100円)
中学生以下	無料	

※ ()内は20名以上の団体割引料金

平成14—18年度新収蔵版画作品展

the national museum of western art, tokyo

会期： 2007年3月6日(火)～6月3日(日)

当館では平成14年から18年度前期にかけて209点の版画、素描を新たに所蔵しました。作品は15世紀末のショーンガウアーから20世紀初頭のピカソまで、時代、国とも多岐に及んでいます。今回の新収蔵版画作品展では、そのなかから25作家、48点を紹介します。

ドイツ版画ではデューラーの優品のほか、ペーハム兄弟のエングラーヴィング、バルラッハやコルヴィッツによる表現力豊かな木版画を展示します。16～17世紀イタリアのギーゼ、デッラ・ベッラの版画はおおらかな表現が魅力です。オランダ版画としてはレンブラントの自画像が注目されますが、ホルツイウスの描く人間像も力に満ちています。フランスではブレダンやブラックモンの卓越した描写力をご覧ください。また今回はルドン、ロップス、アンソールなど象徴主義版画をまとめて紹介します。20世紀の作品は数こそ少ないものの、ブラック、ピカソによるキュビズム期の版画が集まりました。

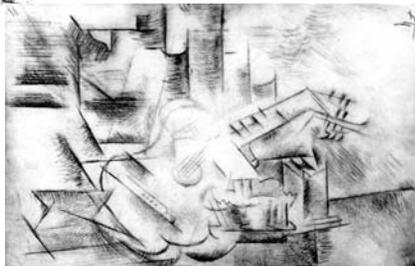
版画コレクションづくりは尽きることがありません。歴史のうえに無数に登場する版画を刷りや保存状態を吟味しながら1点1点取得していくことは、数が少ない間はそれぞれがひとつの点に過ぎません。それを地道に継続することによって、コレクションは点から線になり、面となります。これまでの、そしてこれからのコレクション形成にも注目しつつ、今回はその一端をお楽しみください。

(主任研究員 大屋 美那)



アルブレヒト・デューラー
《ばったのいる聖家族》1495年頃
エングラーヴィング

ジョルジュ・ブラック
《小さなキュビズムのギター
(テーブルの上のギター)》
1909～10年
エッチング
© ADAGP, Paris & SPDA,
Tokyo, 2007



◆常設展観覧料

一般	420円	(210円)
大学生	130円	(70円)
高校生	70円	(40円)
中学生以下	無料	

※ ()内は20名以上の団体割引料金

ようこそ西洋美術館へ —「ウエル.com美術館」構想

the national museum of western art, tokyo

1959年(昭和34年)に設立された国立西洋美術館は、2年後の2009年に50周年を迎えます。人間にたとえるなら青年期をすぎて壮年期に入ったといえるのかもしれませんが。草創期から現在まで、多くの関係者の努力によって松方コレクションを中心とする館蔵品は飛躍的に充実し、毎年2~3回開かれる展覧会もきちんとしたキュラトリアル・ワークにもとづく企画として「西美ならではの」という評価を確立してきたと思います。ただし、きちんとしているからこそ、「西美は敷居が高い」といった声が皆無とはいえません。そこで、どなたでも気軽に来館していただき、展示されている美術品を楽しみながら心ゆくまで鑑賞できるようにしたいという気持ちをこめて計画したのが「ウエル.com美術館」構想です。

楽しみながら美術作品がもつさまざまなメッセージや独特の世界を理解していただき、そのことによって感動と共感、そして納得を深めていただくにはどうすればよいかを、この2年近く模索してきました。その結果、発展めざましいIT機器を活用して音声ガイドだけでなく、静止画や動画なども同時に見ることのできる鑑賞補助システムを導入することが必要であり、そのようなシステムやサービスを積極的に行うことを「ウエル.com美術館」と命名しました。この構想を実演するに当たっては、東京大学の坂村先生や池内先生のご指導をいただくだけでなく、西洋美術に関する膨大なビデオ資料を蓄積しているNHK、カラー印刷に定評のある日本写真印刷株式会社などのほか、さまざまな企業の協力を得て、よりよいシステムとサービスの開発に取り組んでいます。いまだ試行段階で、本格的な実施にはもうすこし時間がかかりますが、日本のみならず世界のどこにもないような鑑賞補助システムを導入しようと努めています。どうか忌憚のないご意見をお寄せいただければと希望しております。

(館長 青柳 正規)



2006年
春のガイドサービス実験
(携帯型端末を使用)



2006年
秋のガイドサービス実験
(携帯型ゲーム機を使用)



2006年
秋のガイドサービス実験
(ワンセグ携帯を使用)

「イタリア・ルネサンスの版画」展に関連して下記のプログラムを実施しますので、ぜひご参加ください。

◆記念講演会

- ① 3月17日(土) 14:00～15:30 **3月3日締切**
 吉澤京子(跡見学園女子大学教授)
 「版画と装飾模様(仮題)」
- ② 3月31日(土) 14:00～15:30 **3月17日締切**
 渡辺晋輔(国立西洋美術館研究員)
 「イタリア・ルネサンスの画家と版画家(仮題)」
- ③ 4月21日(土) 14:00～15:30 **4月7日締切**
 中林忠良(版画家・東京芸術大学名誉教授)
 「版画家の眼で見たイタリア・ルネサンス版画(仮題)」

会 場	国立西洋美術館講堂
定 員	各回145名(聴講無料。ただし、展覧会の鑑賞については別途観覧券が必要です。)
応募方法	往復はがきに、氏名(1枚につき1名様限り)、住所(返信にも)、電話番号、希望日(1枚につき1講演のみ)をご記入の上、下記の宛先までお申し込みください(締切日の消印有効)。応募者多数の場合は抽選になります。
宛 先	〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 国立西洋美術館「イタリア・ルネサンスの版画展」講演会係

◆スライドトーク

当展覧会の見どころやおもな作品について、夜間開館を行なっている下記の金曜日に講堂でスライドを使って解説を行ないます。

日 時	3月23日(金)、3月30日(金)、4月6日(金)、4月13日(金)、4月27日(金) 毎回18:00～(約40分)
解 説	小林明子(慶応大学大学院)
会 場	国立西洋美術館講堂
定 員	先着145名(展覧会観覧券が必要です) *直接講堂にお越しください。

展示カレンダー[企画展示/常設展示]2007年2月～2007年7月

常設展示(本館・新館)

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画を本館で展示しています。新館では、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画を中心に19世紀半ばから20世紀の絵画を展示しています。

休館日
土日・祝日

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● イタリア・ルネサンスの版画—チューリッ工科大学版画素描館の所蔵作品による (企画展示室) 3月6日(火)～5月6日(日)

● 平成14—18年度新収蔵版画作品展 (新館2F版画素描室) 3月6日(火)～6月3日(日)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● イタリア・ルネサンスの版画—チューリッ工科大学版画素描館の所蔵作品による (企画展示室) 3月6日(火)～5月6日(日)

● 平成14—18年度新収蔵版画作品展 (新館2F版画素描室) 3月6日(火)～6月3日(日)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● イタリア・ルネサンスの版画—チューリッ工科大学版画素描館の所蔵作品による (企画展示室) 最終日 5月6日(日)

● 平成14—18年度新収蔵版画作品展 (新館2F版画素描室) 3月6日(火)～6月3日(日)

● パルマーイタリア美術、もう一つの都 (企画展示室) 5月29日(火)～8月26日(日)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● 平成14—18年度新収蔵版画作品展 (新館2F版画素描室) 最終日 6月3日(日)

● パルマーイタリア美術、もう一つの都 (企画展示室) 5月29日(火)～8月26日(日)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

● パルマーイタリア美術、もう一つの都 (企画展示室) 5月29日(火)～8月26日(日)

● Fun with Collection 2007 (常設展示室)

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間
通常…午前9時30分～午後5時30分(ただし、秋の企画展閉会日以降の開館日から春の企画展開催日までの開館期間中=午前9時30分～午後5時)
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時(入館は閉館の30分前まで)
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)年末年始(12月28日～翌年1月1日)
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、昭和の日(4月29日)、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※ 誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとり、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第30号

編集・発行 国立西洋美術館/平成19年2月20日(年4回発行)
協力 (財) 西洋美術振興財団
印刷 (株) アイネット